

アセットマネジメント部門

応募事例名

DXによる維持管理の効率化&リスクの見える化

応募団体名)川崎市上下水道局

応募事例の概要

現場DX

～維持管理の効率化～

巡視時に異常があれば、その場で点検に移行。現場で結果を直接システムに登録でき、作業性が大きく向上



蓄積した維持管理情報の活用によるリスク分析

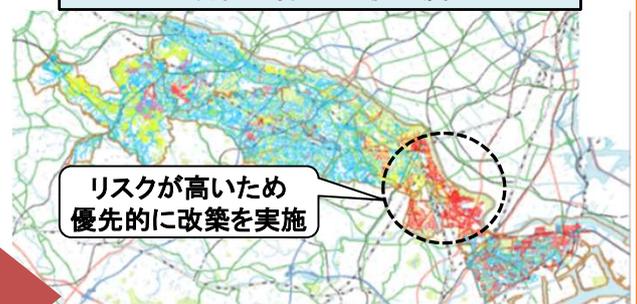
点検時に紙を持ち歩く必要が無く、過去の履歴もその場で確認。カレンダー機能で点検設備が明確になり、作業性が大きく向上



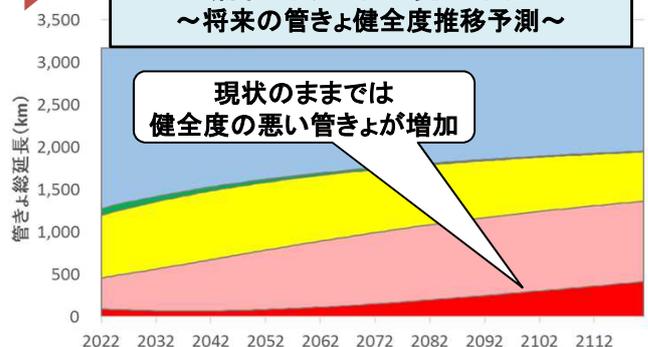
計画DX

～リスクの見える化～

顕在的リスクの見える化
～現在の管きよの健全度～



潜在的リスクの見える化
～将来の管きよ健全度推移予測～



PRポイント

現場DX

- ・GPSの活用で巡視履歴が自動的に蓄積
- ・カレンダー機能により点検設備が明確

計画DX

- ・施設の顕在的リスクを俯瞰的に把握
- ・データ分析による潜在的リスクの推定

取組の効果

- ✓ 潜在的・顕在的リスクの見える化による効率的な老朽化対策の推進
- ✓ 印刷紙 約18,700枚/年の経費削減
- ✓ 集計作業の自動化による業務効率化



下水道部施設保全課
担当係長 宮本 洋輔

アセットマネジメントのサイクルにおいて、日々の維持管理情報の蓄積は最も重要です。一方で人員は限られるため、データ入力作業の効率性と、データ活用の利便性を両立させたシステムの構築が最大のミッションでした。計画、建設、維持管理及び経営の各部門で日頃実務を行う職員と開発業者さんが一丸となって取り組んだ成果として、**効率的な情報蓄積とリスクの見える化を実現する素晴らしいシステムが構築できた**と思います。

今後はこのシステムを最大限活用して、アセットマネジメントの取組を加速させ、維持管理や老朽化対策の効率化に努めていきます。